

APEC食料安全保障担当大臣会合議長への書簡

2012年5月24日

APEC食料安全保障担当大臣会合議長
ロシア連邦農業大臣
Nikolay Fedorov閣下

拝啓

APECビジネス諮問委員会（ABAC）はAPECが2012年において、食料安全保障を最優先事項の一つとしたこと、そしてこの5月に第二回食料安全保障担当大臣会合が開催されることを歓迎致します。

過去十数年以上に渡りABACとAPECは食料安全保障を強化するために多大な努力を続けてきました。1999年にABACが提案した「APECの統一的食料システム」はAPEC首脳の支持を得ましたが、その実施は漠然としたものにとどまっています。2009年にはABACは食料安全保障に関わる重要な問題をまとめた『APECにおける食料安全保障に関する戦略枠組み』という提案書を公表しました。2010年に開催された第一回食料安全保障大臣会合での新潟宣言では、APECの各エコノミー（国・地域）が（i）農業分野の持続可能な発展、（ii）投資、貿易及び市場の円滑化という共通の目標を共同して推進して行くことを宣言し、さらに、14のAPECエコノミーが実施する62の行動を特定した『食料安全保障に関するAPEC行動計画』を確認しました。しかしこの計画の実行は、経済界や農業・食品関連企業の関与がほとんどないまま、農業科学関係の学会及びその他の研究機関により進められてきたため、この計画を達成するための効率的な協力体制が実現できていません。

それゆえに、ABACはAPEC食料安全保障政策パートナーシップ（PPFS）の設立を歓迎し、民間部門と共同したこのパートナーシップを利用し、APEC域内における食料安全保障政策の検討と実施に焦点をあてるよう、それぞれの政府に指示することをAPEC首脳へ要請します。

今年、ABACは、PPFS運営会議の主要な委員の選考にあたり、オープンで、かつ透明性のある手続きに基づきこれを実施し、そしてABAC各エコノミーを代表する民間部門からの委員の指名手続きを実施しました。結果として、現在のPPFSは農業食品産業関連、生産者グループ、及び企業からなど需要・供給の両方の立場から50名を越える代表者で構成されることになりました。

ABACは、食料の供給と需要を効果的に結び付け、経営資源特に投資フローが効率的に確保される開かれた市場を支持します。ABACは食料事情をこれまでになく複雑なものとする新たな課題があることを認識しています。この新たな課題に直面し、我々は、民間部門からのより大きな関与とともに、まず第一に世界的市場における食料供給と栄養量の拡大を目指し、第二に世界市場における食料価格の変動を縮小させ収穫後の損失を減少させるために具体的

な行動を起こすよう提案します。

私どもは特に以下の懸案事項と関連する行動に対する大臣閣下の配慮を要請します。:

1. 食料関連技術及び食料安全システムの効果的な普及

私どもは食料生産の増大と安全で安定的な食料供給を確保する鍵は技術にあると信じています。過去、技術が食料生産の拡大と安定的な食料供給を確保にあたり、確実に役割を果たしてきたことは疑問の余地がありません。先進エコノミーにおいては穀物の収量を高める上での技術の役割は低下してきましたが、発展途上エコノミーにおいては技術により生産量を増加させる余地がいまだに大いにあります。

それゆえ私どもはAPECが農業・食料部門における、イノベティブな活動を調整し、技術の普及を支援し、革新的技術を利用する際に起こりうるリスクと結果を評価し、食料関連技術の普及に関するデモンストレーション案件を展開する技術普及センター設置の可能性について検討することを推奨します。また、APEC食料安全協力フォーラムとの緊密な協調も推奨します。

2. 農業食品部門への協力と投資との拡大

私どもは、農業分野への長期にわたる世界的な投資の不足が、多くのエコノミー、特に発展途上エコノミーにおける低い農業の生産性とその停滞をもたらしたのではないかと懸念しています。APECエコノミーでの食料供給の拡大という課題に取り組む為には、公的及び民間投資の著しい増加が必要です。

それゆえ私どもは、APECがPPFSを通じて、農業食料部門への投資を促すと同時に投資協力への障害を特定することを目指し、APECエコノミー域内のビジネス環境を改善することを提案致します。そしてAPECが地域投資戦略計画を策定し、農業食料部門への投資を誘致するための政策を立案するよう検討することを推奨します。

3. 食料市場インフラの開発

私どもは、食料市場のインフラの発展と物流の改善は、市場の総合的な発展、自由化と相互の統合のために重要な役割を果たし、その上、市場が一層効率的に機能し、さらに拡大する上での基盤となる、と言う考え方に同意します。

貯蔵や輸送等の物流プロセスには常に食品ロスが発生します。従って、食料市場インフラが発達すれば食料の全サプライチェーン（生産、貯蔵、輸送、流通）において食品ロスを顕著に減らすこととなります。

それゆえ、私どもはAPECが、常温保存と冷蔵保存の双方のサプライチェーンのより効率的な管理に焦点をあてることを含め、この問題を分析し、解決策を作成する為に比較可能なデータを利用可能とするように、APEC加盟エコノミーの食料部門における収穫後のロスの評価する統一された基準を開発するよう検討することを提言します。また、私どもは、APECが輸送中の食品ロスを最小限にするための食料市場インフラの開発と社会的弱者に対するより大きな食料提供能力のための枠組みを構想し、短期的な食料の緊急ニーズのリスクを緩和することを提案します。

4. 世界食料市場の透明性の改善

食料価格の不安定性はG20サミットでフランスが議長国を務めていた時の主要課題でした。G20政府は、農業市場情報システム（AMIS）を構築しました。2010年に新潟で採択された食料安全保障行動計画によると、日本はアジア太平洋食料安全保障情報プラットフォーム（APIP）を構築しています。

それゆえ、我々はAMISとAPIPのシステムが連携する分野とG20あるいはAMIS加盟メンバーではないAPECエコノミーが両情報システムに参加する可能性についてAPECが検討することを提案します。

5. 金融商品の影響のモニタリング

投機的取引は市場を活発にしますが、消費者への最終価格にマイナス影響をもたらすこともあります。それゆえ金融商品がもたらす影響を監視することを強化する必要があります。ABACはG20の『食料価格の不安定性と農業に関する行動計画』を注視し、施策を採用、調整、実施することをAPECに提案します。

私どもはこの5月のカザンにおけるAPEC食料安全保障担当大臣会合において、上記の諸課題と提案に関して閣下と話し合う準備を整えております。

敬具

2012年ABAC議長
Ziyavudin Magomedov